

土浦第一高等学校と土浦市議会の意見交換会

令和5年11月14日（火）16:30～18:00

本校を会場にして、本校生徒27名と土浦市議会議員全24名が、土浦市の政治的課題を巡って、意見交換会を実施しました。それぞれが3つの委員会に分かれて、選挙における低投票率を上昇させる手がかり、人口減少・少子高齢化への対策、土浦市の魅力等について、制限時間を超えて熱い議論が交わされました。現役の市議会議員と直に意見を述べ合う貴重な機会だったため、生徒たちの問題意識が強く刺激され、「政治が身近に感じられた」「もっと色々なことを議論したい」という声があちこちから聞こえてきました。



全体会の様子

以下に、各委員会に参加した生徒からの感想を掲載します。

1 総務市民委員会



総務市民委員会の様子

私たちの班では、総務市民委員会の方々と、大きな問題となっている若い世代の低投票率の原因や、その改善方法について話し合いました。この問題の原因の一つだと考えられる、若者の政治に対する関心の薄さを改善することは難しく、また、私たち一人一人が身近な人たちと選挙や政治について会話することが重要だと実感しました。

限られた短い時間ではありましたが、18歳になる来年からどのように選挙と向き合っていくのかを再度考えさせられる、とても有意義な議論ができたと思います。

(感想 2年女子)

2 文教厚生委員会



文教厚生委員会の様子

私たちは土浦市文教厚生委員会の方々と意見交換をしました。私たちがメインで話したのは土浦市の人口問題についてです。議論を交わす中で、改善案の1つとして駅周辺の活性化が挙げられました。一般的に人口問題を考える際にかに人を減らさないかに目が向きがちですが、根本的に人口流出を止めることも重要です。そこで今ある土地の活用や魅力を伝えていくことは大きな起点となるはずです。

また、生徒から土浦市のリンリンロードをもっと魅力的にできないかという意見がありました。この案では、自転車に乗ることでポイントが貯まりそれを活用できる形にしたかどうかという提案があって、私自身すごく面白いなと思いました。このように今ある資源をどう魅力につなげるかという問題は非常に大切であり、自分自身もこれからじっくり考えてみたいと思います。

(感想 2年女子)

3 産業建設委員会



産業建設委員会の様子

私達は、土浦市にどう観光客を呼び込むか、どのように魅力を発掘・発信するかについて話し合いました。生徒からは、霞ヶ浦の水質、交通の便、公園の活用などについて質問が上がり、その度に市議の方々から、歴史的経緯や現在の取り組みについて説明をいただきました。また、SNSによるさらなる観光情報発信や、祭りにおける多言語対応や電子決済といった具体的な改善案についても意見が出ました。話し合いを通して私は、土浦市の現状を知ることができたと同時に、魅力発信にさらなる工夫が必要だと感じました。

(感想 1年男子)

全体を通しての感想



活発な意見ができました

この会を総括するとしたら「時間が足りない！」でしょうか。それほど意見交換は白熱し、「もっと話したい、もっと聞きたい」という気持ちになりました。

この会を通して私は自ら行動することの大切さを再確認しました。行動しなければ、何も変わりません。ネットが発達している今だからこそ、自ら現実を見つめていくことが必要だと感じました。

「政治」というのは「未来」のための「今」を創ることだと思います。その「未来」の世代である私たちが現職の政治家の方々と意見交換できたことは、非常に意義深いものになりました。

(感想 1年男子)